

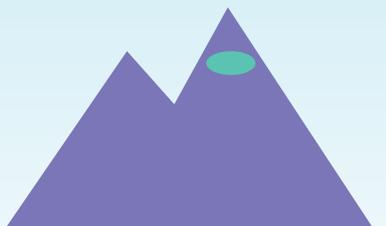


葦王町文化財展⑱

ぞおうさま&どきたん

の

葦王火山と噴火のしきし



葦王町文化財展⑱「ぞおうさま&どきたんの 葦王火山と噴火のしきし」パネル縮小版
主催：葦王町教育委員会 協力：葦王町ジオパーク推進室



みなさんは『蔵王火山』という言葉にどんなイメージを抱くでしょうか？

ふだん私たちは『蔵王連峰』『蔵王の山』『蔵王山』などという呼び方をしています。単に『蔵王』と呼ぶことも多いことでしょう。『蔵王火山』という呼び方はあまりしないと思われる。どことなく縁遠い呼び名というイメージを抱く方も多いのではないのでしょうか。あるいは、世界各地の火山噴火と被害のニュースを見聞きして『火山＝災害』というイメージを抱く方もいるかもしれません。

噴火などの激しい火山活動は深刻な災害です。過去、人々は何度も蔵王の火山活動の被害にあってきました。この地域の歴史とは、蔵王の火山活動と人々とのかかわり合いの歴史であるともいえます。

もちろん蔵王火山は、人々に厳しさだけを与えてきたわけではありません。噴火などの激しい火山活動は一時的なできごとであり、大半の年月はむしろ多大なる恩恵を与えてきたのです。蔵王火山は、人々に災厄と恩恵の両方を与えてきた山なのです。

蔵王火山がどのようにしてできたのか？ 蔵王火山の活動と人々とがどのようにかかわり合ってきたのか？ このふたつの面から蔵王火山を見つめる機会として本展を企画しました。現在、蔵王町では蔵王ジオパーク構想に取り組んでいます。蔵王火山の地質的特徴と、蔵王火山によって育まれてきた歴史・文化・産業などを総合的にとらえ直し発信することで、内外両面から地域活性化をめざす取り組みです。この展示によって、様々な面から蔵王火山について考える機運が高まれば幸いです。

本展の実施にあたり、山形大学理学部の伴 雅雄 教授より、多大なるご指導を賜りました。文末ではございますが記して謝意を表します。

ガイド紹介-(地質担当)

蔵王町観光 PR キャラクター

 **ざおうさま**

寿永元年（1182）の蔵王噴火とともに生れた…という説もある、蔵王生まれ、蔵王育ち、蔵王の森にひっそりと暮らす王様です。最近では森から出てきて大活躍していますが、本人的には『ダイエット』が目的らしいです。実はスノボが得意とのこと。一度拝見したいものです。蔵王火山の成り立ちをはじめ、地質学分野のガイドをしていただきます。

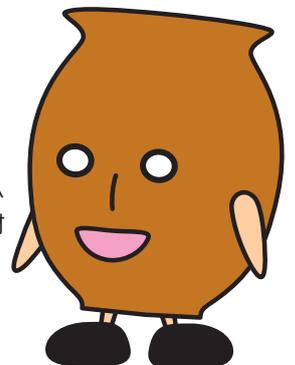


ガイド紹介-(レキシ担当)

蔵王町歴史と文化財 PR キャラクター

 **どきたん**

蔵王町小村崎地区・六角遺跡に眠っていた土器だそうです。六角遺跡は西暦700年台前半の遺跡。つまり、ざおうさまより400歳以上年上ですが、しゃべり方は『元気な小学生』。趣味は『ムカシたんけん』、すなわち遺跡や文化財の探索です。好物はえびせん。やめられないとまらないそうです。蔵王火山と人々のかかわり合いをはじめ、人文学分野のガイドをしていただきます。



※本書は、蔵王町文化財展⑦『ざおうさま & どきたんの 蔵王火山と噴火のレキシ』（2014.2.6～2014.3.16）のパネル縮小版です。

※本書の内容は、2014年1月現在の研究成果に基づき制作・紹介しています。本展示以前に出版された書籍等と内容が食い違う場合がありますが、地質学・郷土史いずれの分野でも、調査研究によって刷新され得ることをご了解下さい。

—第1章—

蔵王火山のメカニズム

蔵王火山は地域のシンボルであり、また全国有数の観光名所じゃ。しかし蔵王火山がいつ、どのようにしてできたのかを知っている人は、意外に少ないんじゃないだろうか？ 戦国武将・武田信玄は『動かざること山の如し』という言葉が好きで使ったが、実は、山は昔から変わらずあり続けているものでもなく、噴火や山体崩壊などで形が変化するもの、要するに『意外と動いとるもの』なんじゃ。蔵王火山もまた同様じゃ。ここでは、われわれのシンボル蔵王火山がどのようにしてできたのか、その生い立ちを探ってみるのじゃ。

第1章 蔵王火山のメカニズム

シマシマの山、蔵王
火山列島ニッポン
コトの起りはアメリカで！？
蔵王火山のメカニズム
蔵王火山の成長に



シマシマの山、蔵王



 蔵王の山で撮影した、ワシの秘蔵写真じゃ。どの写真にも『蔵王の山のあゆみ』が写し出されているのじゃ。



 そうなの？ どこだろ～？

 蔵王の山のあゆみを示すもの、それは『シマシマ』じゃ！

 そういえば、どの写真にもシマシマが写ってるね。このシマシマは…もしかして地層？

 その通りじゃ。蔵王は火山なので、これらの地層は噴火や山崩れなどの火山活動によって作られたものなんじゃ。

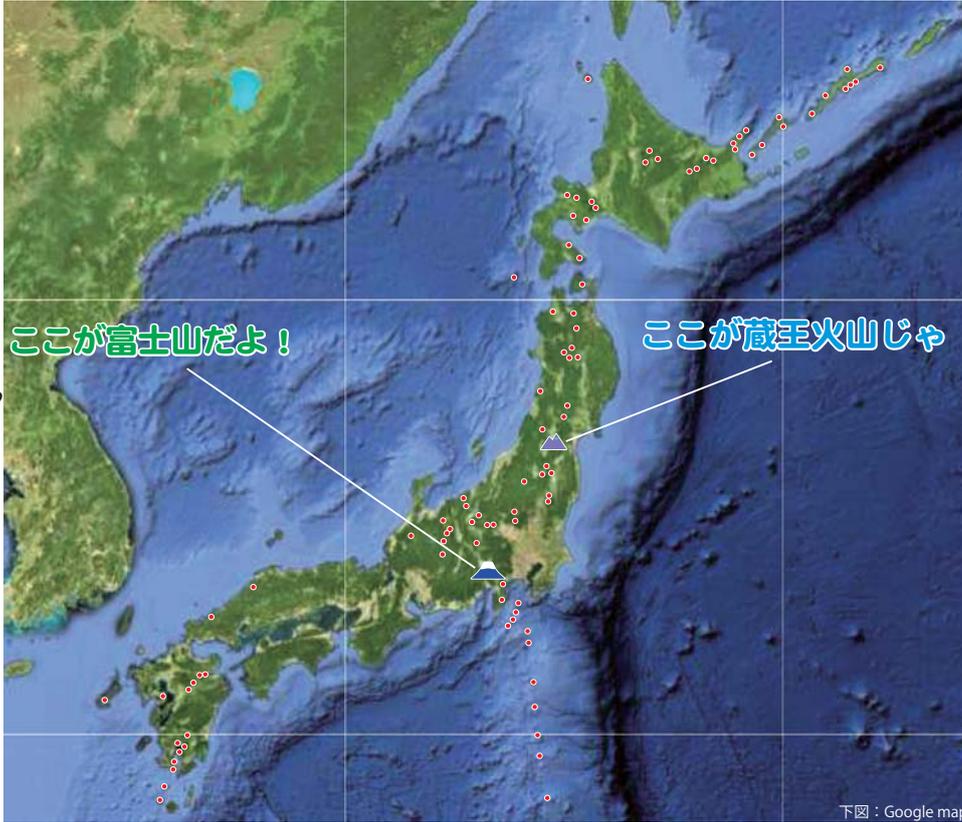
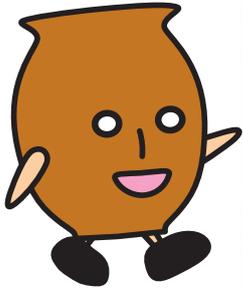
 でも、同じ蔵王の山の地層でも、色や厚さに違いがあるね～？

 蔵王火山は、これまで数千回もの噴火をくり返してきたんじゃ。噴火によって溶岩や火山灰などいろいろなものが出てきて地層になるのじゃ。何でできているかによって色も変わってくるし、層の厚さは噴出物の種類や量、火口からの距離、噴出のし方や崩れ方、たまり方など、いろいろな条件で差ができるんじゃ。

 そうなんだ～！！ 火山の地層って、木の年輪みたいだね！

 うむ。このシマシマは、まさに『蔵王火山の年輪』じゃな！

火山列島ニッポン



●国内の主な活火山

下図：Google map

 これは、日本国内のおもな活火山の位置を示した地図じゃ。活火山とは『過去1万年の間に噴火したことがあるか、現在活発な噴気活動をしている火山』のことで、日本国内に110か所ほどあるんじゃ。蔵王火山もその中のひとつということじゃ。

 110か所！？ ケッコウ多いな～。ところで、この地図をみると、火山のある場所がきれいに並んでるよね？

 うむ。火山はどこにでもできるというものではないんじゃ。北海道から東北地方、関東地方にかけては、国土のまん中に並んで分布しとるんじゃ。蔵王火山もその列の中に含まれとるぞ。

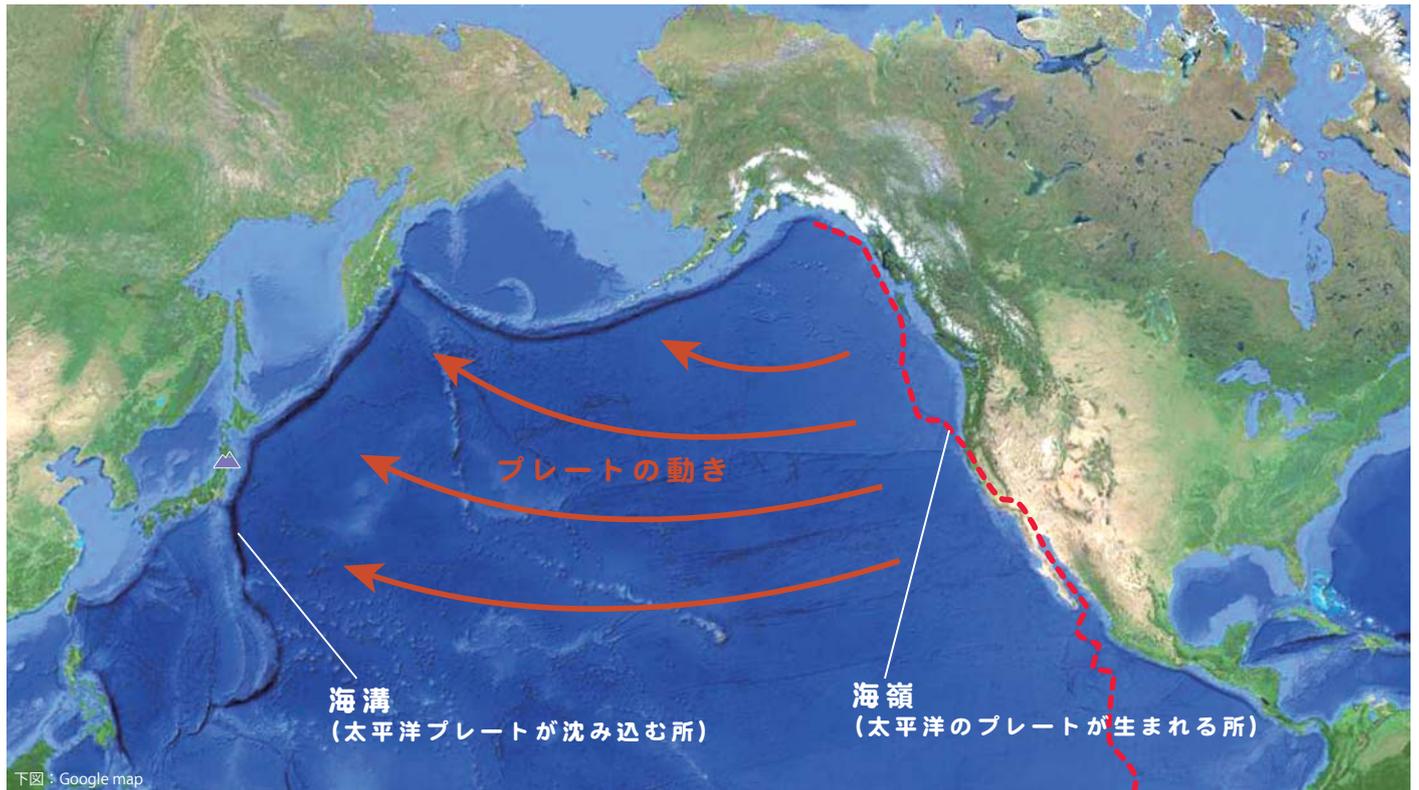
 北海道の東にある島々にも火山がイッパイ並んでるね～。

 千島列島じゃな。それに、ちょうど富士山のあたりから南にも、火山の島が点々と並んどるぞ。

 ナントナク、日本の火山の列って、太平洋を取り囲んでるように見えるんだけど…？

 うむ、良いところに気付いたのう。鋭い指摘じゃ！

コトの起りはアメリカで!?



🐼 おおまかに言うと、火山とは、地下にたまったマグマが噴き出してできた山のことじゃ。つまり、火山のあるところにはだいたい、地下にマグマがたまっているのじゃ。

😊 じゃあ、火山が列になってる日本列島の地下には、マグマだまりも列になってるの？

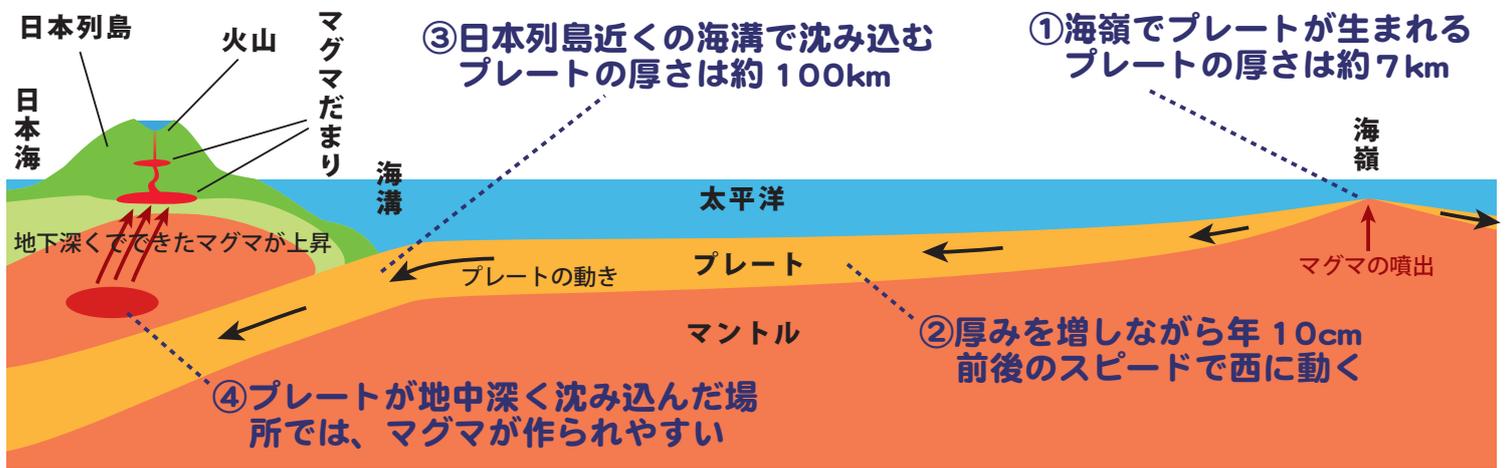
🐼 その通りじゃ。上の地図では、日本列島のすぐ東に濃い青色の帯があるじゃろ？ これは海底の深い溝、『海溝』じゃ。そしてこの海溝こそ、マグマだまりの列ができる原因なんじゃ。

😊 えっ？ 火山は陸の上にあるのに、原因は海の底にあるの？

🐼 うむ。ところで「太平洋の海底の地盤は動いている」と言ったら、驚くかのう？

😊 え～！？ 信じらんないよ～。さおうさまウソツキ～！

🐼 本当のことじゃ。まずは、アメリカ大陸のすぐ西側、赤い点線の所に注目じゃ。ここは溶岩が噴出する長さ数千kmの溝で、『海嶺』と呼ばれとるんじゃ。海嶺では、噴出した溶岩と、その直



太平洋のはじっこで生れたプレートのおかげで、日本列島に火山が列をなす

下の岩石層『マントル』のうち、表層の冷えて硬さを増した部分からなる『プレート』が生み出されるんじゃ。

えっと…。『冷え固まった溶岩の層』と『冷えて硬さを増したマントルの層』をあわせて『プレート』ってことだね？

その通りじゃ。プレートは、年 10 cm 前後のスピードで西に動くんじゃ。また、長い年月のうちに少しずつマントルの上の方が冷えて硬さを増して、プレートの厚さが増していくんじゃ。

つまり…アメリカで生れた太平洋の底が厚みを増しながら、ゆっくりと日本に近づいてくるってこと？

そうじゃ。太平洋プレートは、生れてから 1 億年以上もの時間をかけて、日本列島のすぐ近くまでやってくるんじゃ。

えっ！？ 太平洋の底と日本列島がぶつかっちゃうよ～！？

日本列島の近くで、太平洋プレートは日本列島の下に沈み込むんじゃ。プレートが沈み込む場所が海溝なんじゃよ。

じゃあ、日本列島の下には太平洋の底があるってこと？ 地面が 2 重になってるみたいで、フシギだな～！？

良い例えじゃな。その、地面が 2 重になっているところそ magma が作られる場所じゃ。太平洋は広い。そのプレートが沈み込む海溝もすごい長さじゃ。その海溝に沿って magma が作られ、火山ができる。これが、太平洋を取り囲むように火山が列を作る秘密じゃよ。

 それは、^{あつりょく}圧力が^{かんけい}関係してくるんじゃ。^{あつりょく}圧力の^{ひく}低い^{ちじょう}地上なら、^{みず}水は100℃で^{ふっとう}沸騰する。しかし^ち地下^か深くは^{あつりょく}圧力が^{たか}高いので、1000℃以上になっても^{ふっとう}沸騰しないんじゃ。

 そんな^{ちようこうあん}超高温でも^{みず}水が^{ふっとう}沸騰しないなんてフシギだなあ。それと、もうひとつ^{そほく}素朴なギモン…。どうやってそんな^ち地下^か深くに^{みず}水がたどり着くの？

 良い^よ所に^{ところ}気付いたな！ まず、^{にほんれつとう}日本列島の下には^{しん}太平洋プレートが^{しず}沈み込んで^こいることを^{おも}思い出すのじゃ。

 うん。^{おも}思い出した。

 太平洋プレートの^{ひようそうぶぶん}表層部分には、^{たいりょう}大量の^{みず}水が^{ふく}含まれとるんじゃ。

 もともと^{たいへいよう}太平洋の^{そこ}底だもんね～。

 この^{みず}水は、プレートが^{しず}沈み込むときの^こ圧力で^{あつりょく}大半が^{たいはん}しぼり出されてしまうが、^{いちぶ}一部は^ち地下^か深くまで^{はこ}運ばれるんじゃ。この^{みず}水がやがて、^とマントルを^{ねっすい}溶かす^{ねっすい}熱水になるんじゃよ。

 ということは、^{にほんれつとう}日本列島に^{かざん}火山が^{れつ}列を作ってる^{つく}張本人って、^{たいへいよう}太平洋の^{みず}水ってコト？

 うむ。^{にほんれつとう}日本列島のすべての^{かざん}火山が^{おな}同じ^{りゆう}理由でできているわけではないが、^{たいへいよう}太平洋プレートを^と取り^{かこ}囲むように^{れつ}列を作っている^か火山の^{さん}多くは、^{たいへいよう}太平洋の^{みず}水が^ち地下^か深くで^{ねっすい}熱水化して^とマントルを溶かし、^{つく}マグマを^だ作り出したことでできたものなんじゃ。

 へ～！ ^{うみ}海と^{やま}山って^{おも}カンケ～ないと^{おも}思ってたけど、^{ふか}深いところでつながってるんだね～。『^{たいへいよう}太平洋は^{ざおうかざん}蔵王火山の^{かあ}お母さん』ってコトだね！！

蔵王火山の成長キロク



😊 あって当たり前だと思ってたけど、いろいろわかってくると、ここに蔵王の山があるってスゴイことなんだねえ！

👤 そうじゃな。蔵王火山は、約120万年もの長い時間をかけて成長してきたんじゃ。これぞ『壮大なる地球の営み』じゃ。

😊 120万年？ そんなに長い間ずっと火山活動を続けてたの？

👤 いや、活動期と休止期とを何度もくり返してきたようじゃ。詳しくは、下の年代表を見てくれるとわかりやすいのじゃ。

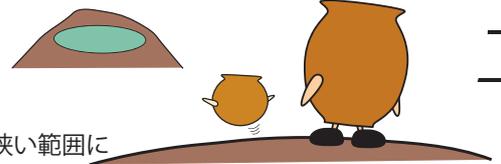
😊 よく「蔵王連峰は北⇒南⇒中央の順にできた」ってお話を聞けど、これを見ると必ずしもそうじゃないんだね〜。

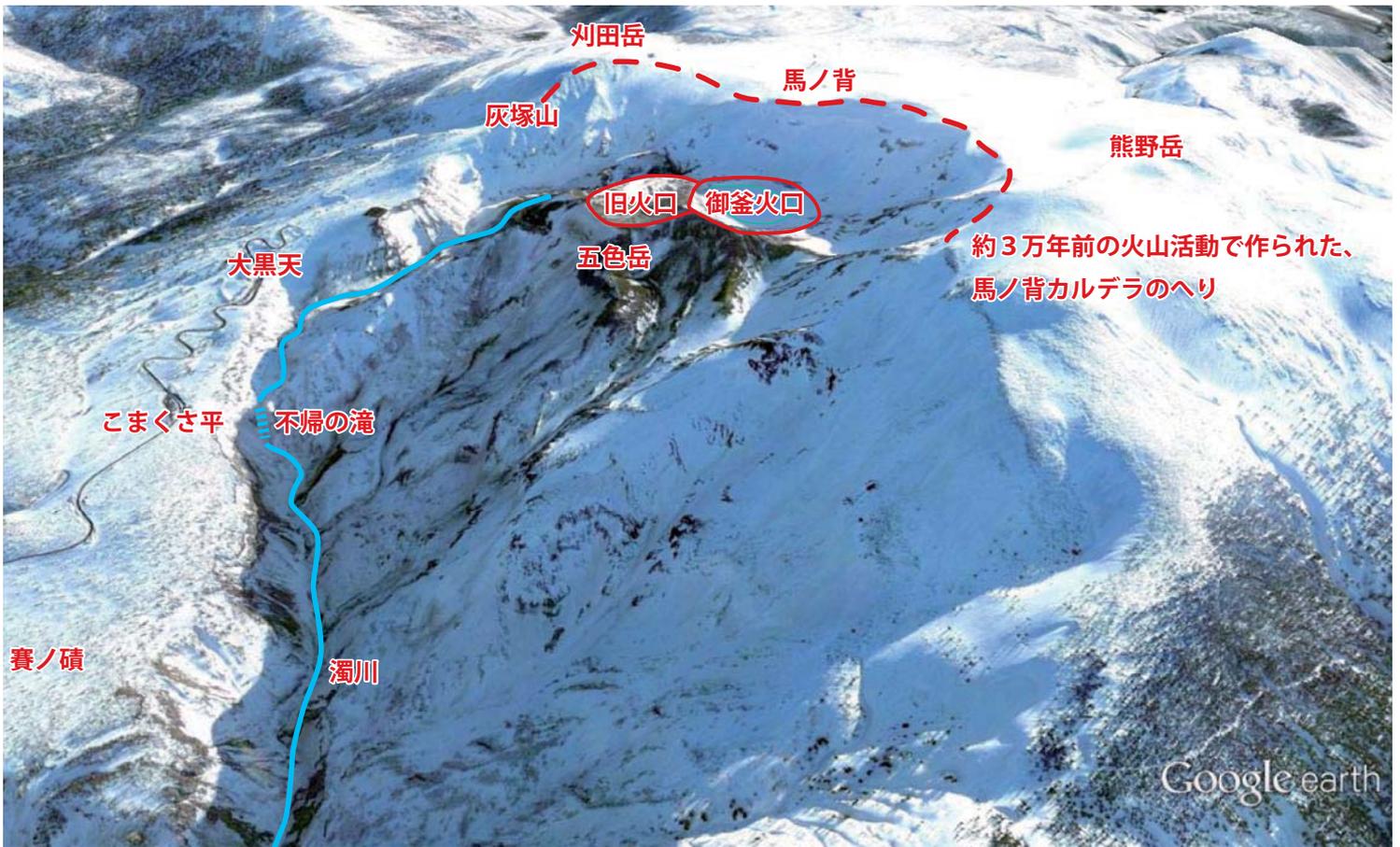
👤 「北と南から中央に寄せてきてる」という感じじゃな。



蔵王火山の成り立ちをまとめてみたんじゃ。壮大じゃな〜！

年代	できごと
約120万～80万年前	瀧山火山（北蔵王）、ロバの耳岩（中央蔵王）、前山・杉ヶ峰（南蔵王）などの山体ができる ○ロバの耳岩は水中で固まった溶岩。つまり、当時はカルデラ湖ができていたことがわかる
約80万～40万年前	活動休止期
約40万～30万年前	五郎岳・三郎岳付近（北蔵王）、中丸山付近（中央蔵王）、馬ノ神岳・不忘岳（南蔵王）などの山体ができる
約30万～10万年前	熊野岳・刈田岳・地藏岳（中央蔵王）、烏帽子岳・杉ヶ峰・屏風岳（南蔵王）などの山体ができる
約10万～3万年前	活動休止期
約3万年前	馬ノ背カルデラができる（中央蔵王） ○複数の火口からの噴火や、爆発的な噴火が発生。比較的狭い範囲に複数の火口が形成され、後にこれらの火口が連結してカルデラが形成された
約3万～1万3千年前	馬ノ背カルデラ内で爆発的な噴火が断続的に起こる（中央蔵王） ○約2万8千年前には五色岳が形成されはじめる ○これらの噴火の火山灰は遠刈田温泉付近から、ときにはさらに遠方にまで降り注いだ
約1万3千～7千5百年前	活動休止期
約7千5百～4千年前	それ以前より規模は小さいが、依然としてやや大規模な噴火が断続的に起こる（中央蔵王）
約3千年前	特殊な規模の水蒸気爆発が発生し、現在の五色岳付近に凹地が形成される（中央蔵王）
約2千年前	凹地の東部から噴火がはじまり、五色岳が成長をはじめる（中央蔵王） ○マグマ水蒸気爆発を繰り返し、火砕サージも多発した
約2千～1千5百年前	五色岳、標高1500mほどまで成長。また、火口がやや西方に移動する（中央蔵王） ○西方に移動した旧火口は御釜火口に隣接しており、現在も痕跡が観察できる
約8百年前	五色岳、火口が現在の御釜の位置に移動する（中央蔵王）
約8百～現在	五色岳、火山活動を断続的に繰り返して現在にいたる（中央蔵王）





この複雑な地形がどうやってできたか…？ 『蔵王火山形成のドラマ』 じゃなあ

しかし、やはり最近まで活動を続けているのは中央蔵王、特に御釜周辺に集中しとるようじゃな。

😊 そうだね。それにしても、御釜の周辺ってものすごくフクザツな火山活動が起ったんだね～。

🍷 上の写真は、中央蔵王を東北東、みんなが御釜見物をする反対側からの眺めじゃ。地形が複雑じゃろ？

😊 ボク、いつも御釜がキレイに見える所にしか行かないから、反対側は知らなかったよ。ボコボコにくぼんでるんだね～！

🍷 うむ。火山とは、噴火による噴出物が降り積もるだけではないのじゃ。噴火の勢いがすさまじいときは山体が吹き飛ばされ、山の形が変わってしまうこともある。降り積もった噴出物が崩れたり、川の水で削り取られたりということも起る。蔵王火山の地形も、噴出物が積もるだけでなく、崩れたり削れたり絡み合って現在の姿になったんじゃ。

😊 う～ん、フクザツになるわけだね～！

ーちょっとおもしろい蔵王のひとこまー



ロバの耳岩

御釜から東北東に約 1.5Km ほど降った地点にある岩。蔵王火山の中でも特に古い時期の溶岩で、約 120 ～ 70 万年前に噴出したものと考えられている。水中で固まった溶岩の特徴が認められることから、この溶岩が噴出したときはカルデラ湖が形成されていたことがわかる。（蔵王町ジオパーク推進室撮影）

—第2章—

蔵王火山と噴火のレキシ

蔵王火山ざおうかざんがイマの形かたちになるまでには、ビックリするくらいの年月ねんげつがかかったんだね。年代ねんたいをあらわす単位たんいも、〇千年せんねんとか〇万年まんねんとか、ケタがでっかくてオドロキだよな～。ここからは、ボクたち人間にんげんと蔵王火山ざおうかざんとのかかわり合いあについて紹介しょうかいするよ！ 蔵王火山ざおうかざんのことがレキシとうじょうに登場とうじょうするようになったのは、イマから1250年ねんほどムカシのこと。それ以来いらい、嬉しいことうれ、悲かなしいこと、楽たのしいこと、辛つらいこと…蔵王火山ざおうかざんと人々ひととの間あいだにはたくさんのドラマひろがくり広げられてきたんだ。まさに『地ち域いきのレキシは蔵王火山ざおうかざんとともにあり』だよ！

第2章 蔵王火山と噴火のレキシ

最古の記録は神さまのコト

蔵王火山をお祭りする神社

忘れられない山

『蔵王山』の誕生

蔵王火山、最古の活動記録

御釜誕生！ ジツは2代目！？

黄金ザクザク！ 岩崎山

ハッケン！ 遠刈田温泉

寛永の大噴火

～村田城主伊達宗高公～

アラ不思議！？ 温泉が冷泉に！

大変だ！ 権現さまが焼けちゃった！

ちょっと休んでまた起きて…

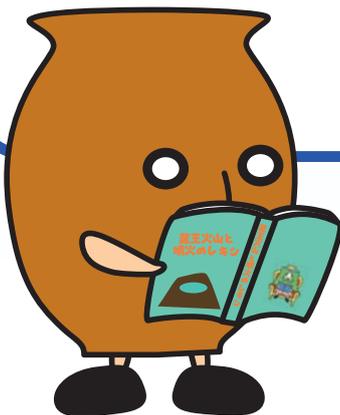
蔵王の地名と信仰登山

『聖地』と『鉦山』仲良く同居！？

蔵王の噴火、初撮影！

ジオとレキシと大根と

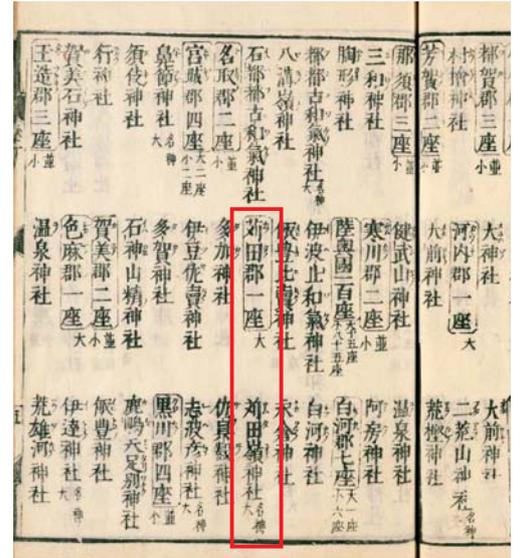
忘れちゃいけない青麻山



蔵王火山をお祭りする神社



刈田嶺神社（宮地区）『宮』という地名の由来でもある由緒ある神社



延喜式 卷十 延喜五年（905）

国が祭る神社をリスト化した公式記録。刈田嶺神社は名神大社の社格で掲載されている

※国立国会図書館デジタル化資料より抜粋

😊 ところで、ざおうさまは初もうでに行くの？

🐸 うむ。ワシは宮地区の刈田嶺神社に行くのじゃ…あ！ もしや刈田嶺神社とは…！？

😊 そのと〜り！ 宮地区の刈田嶺神社は、ムカシの国の記録に登場した、蔵王火山の神さまをお祭りする神社だったんだよ。

🐸 それは驚きじゃ！ あの神社が、太古の昔から国にお祭りされるほどの由緒ある神社だったとは！

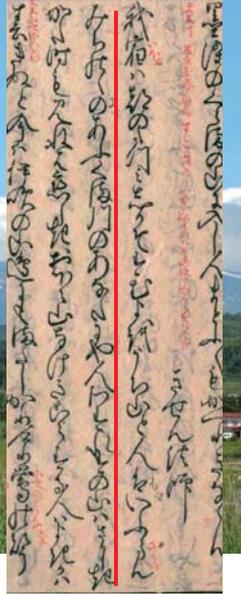
😊 うん。この記録は『延喜式神名帳』っていう、国がお祭りする全国の神社を総まとめしたリストで、イマから1100年ほどムカシに作られたんだ。刈田郡では刈田嶺神社1社だけがリストアップされたんだよ。

🐸 地域を代表する神社だった、ということじゃな。

😊 うん。後に刈田嶺神社は、刈田郡全体の守り神を意味する『刈田郡総鎮守』に位置付けられたんだ。

🐸 地域のシンボル・蔵王火山を神格化した神さまじゃ。地域の守り神としてこれ以上ないほどふさわしいわい！

忘れられない山



蔵王連峰～忘れずの山～（小村崎地区から撮影）

古今和歌六帖 第二山

季節や風物などのお題ごとに四千首以上もの和歌が集められた、平安時代の私撰和歌集 ※国立国会図書館デジタル化資料より抜粋

😊 みちのくの 阿武隈川のあなたにや 人忘れずの山はさかしき

🐸 なんじゃ！？ いきなり和歌など詠んで、どうしたんじゃ？

😊 これ、蔵王の山のことを詠んだ和歌だよ！

🐸 ん～？ 阿武隈川はわかるが、どこに蔵王が出てくるんじゃ？

😊 この歌はイマから1030年くらいムカシの和歌なんだけど、その頃はまだ『蔵王山』じゃなく『刈田嶺』とか『不忘山』って呼ばれてたんだ。きっと『一目見たら忘れられないほど美しい山』って意味でつけられたんだらうね～！

🐸 忘れずの山…。蔵王の山にふさわしい美しい呼び名じゃ。

😊 ハンナリした、やさしい呼び名だよ。ボクも大好き！

🐸 刈田嶺（岳）や不忘山は、今では蔵王連峰中の山名になっているが、昔は蔵王連峰全体を指す呼び名だったんじゃな。ところで、蔵王と呼ばれるようになったのはいつ頃なんじゃ？

😊 うん。あんまりハッキリとした年代はわかってないんだけど、おそらく平安時代の終わり頃じゃないかって説があるよ。イマから830年ほどムカシのことだね。

「蔵王山」の誕生



(左) 蔵王大権現 奈良県吉野・大峯山護持院櫻本坊所蔵

(右) 修験道の儀式『大護摩供養』遠刈田温泉にて櫻本坊が執行

😊 ざおうさま、山伏って知ってる？

🐸 時代劇で、ホラ貝を吹いたり、お経を唱えたりする人じゃろ？

😊 チョット違うかな…。山伏は、山の中での修業を通じて悟りをめざす、修験道っていう信仰を行う人たちだよ。修験道は、イマから1100年ほどムカシ、奈良の吉野地方で始まったんだ。

🐸 ふむ…、山に入って修行か…大変そうじゃ…。

😊 大変そうだね。でも、修験道は全国各地に広まって、イマから830年ほどムカシには刈田嶺も山伏さんの修行の場になって、山頂にお社が建てられたんだ。

🐸 山頂にお社？ 何をお祭りしたんじゃ？ 火山の神さまかの？

😊 ううん。火山はカンケイないよ。お祭りされたのは、修験道でもっとも大切にされる『蔵王大権現』っていう神仏だよ！

🐸 なんと、蔵王と名のつく神仏じゃと！？ そうか！ それで、この山が蔵王と呼ばれるようになったんじゃな？

😊 そのとおり！ 山の名前も、町の名前も、ざおうさまの名前も、みんな蔵王大権現に由来するんだよ！ アリガタイよね～！

蔵王火山、最古の活動記録



いきなりじゃが、西暦 1182 年に蔵王火山が噴火したかどうかわかるかのう？ フシ、この年生まれという説があるんじゃ。

その年って、年代が記録された蔵王噴火では、最古の年だよ！

なに！？ そうなのか？

山形県上山市の安楽院ってお寺に伝わる古文書に「(火山の噴火で) お宮が壊れたから再建しなければならない」って、火山活動のことが具体的に記されてるんだよ。

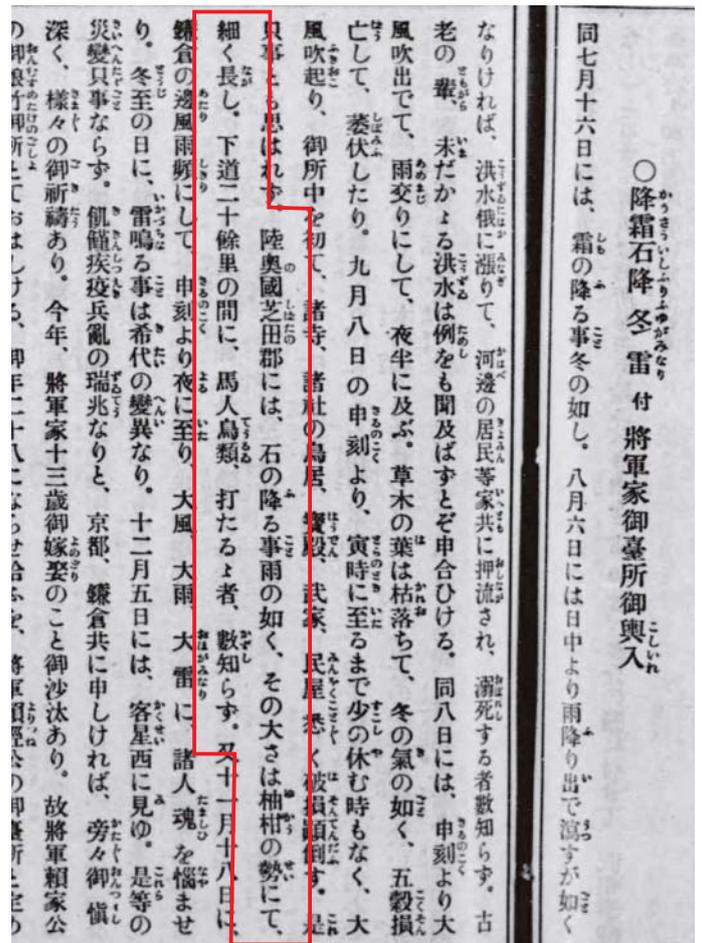
うむ。これまでは刈田嶺の神さまの記録ばかりだったからのう。

そうだよね～。これまでは国の行事ばかりだったから。でも、時代が新しくなるにつれて、地方で起きたこともどんどん具体的に記録されるようになってい

くんだ。例えば、西暦 1230 年。この年も蔵王火山が噴火したんだけど、これがかなり具体的に記録されてるんだよ！

どれどれ…。なんと、お隣の柴田郡にまで火山弾が飛んでいてるではないか！？ しかも、かなりの被害があったようじゃな…おそろしいものじゃ…。

この火山活動は、西暦 1350 年頃の別な記録にも「～ずっと噴煙を上げ続けている」って記されてるんだ。100 年以上も続いた、大きな火山活動だったのがわかるよね。



北条九代記 寛喜2年(1230)※国立国会図書館デジタル化資料より抜粋
鎌倉幕府の治世や当時のできごとをまとめた年代記
(枠内意識) 陸奥国柴田郡には、まるで雨のように火山弾が降った。その大きさはユズやミカンほどで、細長い形をしていた。下道二十余里ほどの間には、馬や人、鳥など、火山弾に当たってしまったものがきわめて多数にのぼった

御釜誕生! ジツは2代目!?



旧火口
(約 2000 ~ 800 年前)

現在の火口『御釜』
(約 800 年前 ~ 現在)

…手、伸びるんじゃないな…

このあたりの地層の
曲がりが符合するんだよ～



- 蔵王のシンボル、御釜！ いつみてもキレイだねえ！！
- そうじゃな。素晴らしい自然景観じゃ。
- 御釜って、いつ頃できたのかなあ？
- ズバリとは言えないが、およそ800年ほど昔のようじゃ。
- その頃だと、さっき見た1230年の『北条九代記』の記録があるね。モシヤ…、あの噴火が御釜誕生の噴火かも！？
- あるいはそうかもしれんな。ところで『御釜は2代目』という話は知っとるかな？
- え～？ どういうこと？
- 厳密に2代目と言い切れるわけではなく、3代目とか4代目かもしれないんじゃが、御釜の東にくぼんだ地形があるじゃろ？ それが、御釜火口ができる前の五色岳の旧火口なんじゃ。
- あ、なるほど～。御釜にチョット重なって、別の御釜っぽいくぼみがあるね！ これが御釜のお姉さんなんだね！
- 兄か姉かはわからんが…。旧火口は、御釜火口の噴出物で埋まってある。御釜の湖岸で堆積のようすが観察できるんじゃ。
- ほんとだ！ シマシマがくぼみの形にまがってるよ！ まさに『シマシマは蔵王火山の年輪』だね！

黄金ザクザク！岩崎山



岩崎山 遠刈田温泉北方に位置する小高い岩山。古来、金を産出することで知られる。数十年前までは付近を流れる松川で砂金採りを行う人もいた。『岩崎山金窟址』として蔵王町の史跡に指定されている。(左：岩崎山全景 右：江戸時代の坑道跡)

 蔵王の産物の中で、イチバンご～じゃすなのはな～んだ？

 う～む…牛肉か？

 はずれ～。正解は『金』で～す！

 …それ、今は採れないじゃろ…昔の話じゃ。

 カタイ事言いっこなしだよ。遠刈田温泉の岩崎山には金の鉱脈があるんだ。そのおかげで、岩崎山の脇を流れる松川では、ムカシから砂金が採れてたんだよ。イマから400年ほどムカシには、本格的な金の採掘も行われてたんだ！

 うむ。実は、岩崎山も火山に関係する山なんじゃよ。

 へ～！ じゃあ、岩崎山の金も蔵王火山が作り出したの？

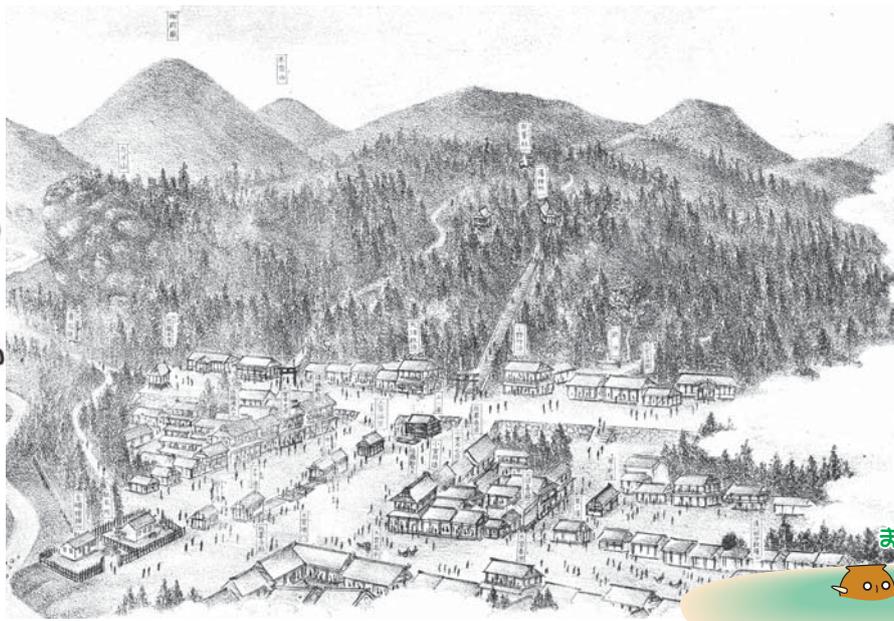
 いや、おそらく蔵王火山ができるずっと以前の産物じゃ。およそ1500～500万年ほど昔、地下から噴出した大量の溶岩が冷えて固まって大きな岩の塊ができたんじゃ。やがて、岩のヒビやすき間に金が溶け込んだ熱水がしみ込み、少しずつ金が蓄えられて鉱脈が作られた。それが岩崎山の金鉱脈じゃ。

 岩崎山にそんなヒミツがあったなんて、ビックリ～！！

 そうじゃな。蔵王火山とは係りがないかもしれんが、岩崎山の金鉱脈もまた、わが町で見れる貴重な『地球の営み』じゃな！



ハッケン! 遠刈田温泉



遠刈田温泉全景

明治25年(1892)頃、大沼勘十郎が浴場を開設してから270年ほど後の遠刈田温泉の情景。勘十郎の開設と伝えられる『上の湯』『下の湯』の名前も見える。大通りにはいくつもの共同浴場が建ち並び、数々の宿屋が軒を連ねる。このような旅館街を形成するようになったのは江戸時代後期以降のこと。



😊 ぱしゃぱしゃ…とぷ～ん…ふう～～ (*^。^*)

😊 ぱしゃぱしゃ…ざぶ～ん…ほお～～ (*^。^*)

😊 ヤッパリ温泉はサイコ～だね!

😊 うむ。冬場は特によしじゃ。この遠刈田温泉は、西暦1601年に大沼勘十郎なる人物が発見したという伝説があるんじゃ。

😊 うん、知ってる～。岩崎山の麓にお湯が湧いてるのを見つけた勘十郎が、上の湯・下の湯、2つの浴場を開いたんだよね!

😊 うむ。ちなみに、浴場開設は西暦1618年と伝えられとる。

😊 遠刈田温泉グランドオープンだね。今年(ことし)は396年目だ!

😊 ちとハンパじゃのう…。温泉は、火山活動が活発な地域に多いんじゃ。火山活動が活発な地域では、地下の比較的浅いところにマグマがあるのじゃ。地下にたまった水がマグマの熱であたためられて温泉になるんじゃよ。また、たまっていた地層の成分が水に溶け込んで、温泉成分になるんじゃ。

😊 遠刈田温泉は『ナトリウム・カルシウム-硫酸塩・塩化物泉』だよ。『硫酸ナトリウム、硫酸カルシウム、塩化ナトリウム、塩化カルシウムを含んでます』ってことだね。どんな地層にたまってたお湯なのか、想像するとちょっとオモシロいね!

寛永の大噴火～村田城主伊達宗高公～



伊達宗孝公命願之碑（昭和48年建立の没後350年記念顕揚碑。刈田山頂）

😊 イマから400年ほどムカシ、江戸時代になると、地域のできごとが詳しく記録されるようになるんだ。蔵王火山のこともイロイロ記録が残されてるんだよ。

🍎 ほほう。それでは、江戸時代に入って最初の蔵王火山の噴火はいつのことじゃ？

😊 西暦1615年。江戸時代に入って10年目くらいだね。その直前の1610年と1611年には大きな地震があったんだ。1611年の地震では大津波も起って、沿岸部に大きな被害があったんだって（慶長の大地震）。

🍎 …いたましいことじゃ…。

😊 よく「大きな地震の後には火山活動が活発になる」って言われるけど、本当なんだよ。地震の4年後に噴火した蔵王火山は、その後80年もの長い間活動し続けたんだ。その間、噴火が12回も記されてるんだよ。

🍎 平均で7年に1回じゃ。人々はさぞ大変だったじゃろうな…。

😊 中でも最大級の噴火が起ったのが1623～4年。年号から、

『寛永の大噴火』って呼ばれてるんだ。火口から炎と噴煙がわき上がって大きな石が噴き出し、周辺一帯の村々に火山弾や火山灰が降って農作物などに大きな被害を与えたんだって。モノスゴイ災害だったみたい…。

そうじゃな…。

このとき仙台藩主の伊達政宗は、息子の村田城主・伊達宗高を蔵王の山頂に登らせて、噴火を鎮めるための祈りの儀式を行わせたんだよ。

噴火の真っ最中に山頂に行くなど、なんと危険な…。しかし、それほど被害が深刻だったということじゃな。大自然の力の前では、人間の力はあまりに小さいものじゃ。神仏に祈りをささげる気持ち、よくわかるぞ。

うん、そうだね。刈田岳の山頂には、伊達宗高の業績をたたえる記念碑が建てられてるんだよ。今度お参りしてみてね！



伊達宗孝公御廟所 (村田町・龍島院)

村田城主・伊達宗高公の事績

伊達宗高公は、慶長十二年(1607)仙台藩祖伊達政宗公の七男として誕生。慶長十八年(1613)、七歳にして村田城主に任ぜられました。

元和九年(1623)、蔵王噴火により領内一帯に甚大な被害が及びました。翌寛永元年(1624)、宗高公は藩主名代として鎮火を祈願するよう政宗公の命を受け、噴煙にむせび灰石を身に浴びながら登頂、刈田山頂に祭壇を設けて鎮火を祈りました。その際、宗高公は青竹に息を吹き込み、それを地中に埋めたと伝えられています。人は呼吸しなければ生きることができません。ゆえに『息』は『命』に等しく、息を吹き込んだ竹筒には『人柱』の意味が込められていたのでしょう。命を賭けて鎮火を祈る宗高公の覚悟がうかがえます。その思いが通じたのか、程なくして噴火は沈静化し、人々は大いに喜びました。

寛永三年(1626)、宗高公は政宗公の伴として京都に上り、朝廷より従五位下右衛門大夫の官位を賜りました。しかしその二月後、天然痘にかかり死去。村田城下の龍島院に葬られました。享年二十。家臣領民は、鎮火の祈願ゆえの死と大いに悲しみ、その死をいたみました。

大正十五年(1926)、宗高公没後三百年を記念して刈田山頂に顕揚碑が建立されました。その後、昭和四十二年(1976)には没後三百五十年記念の顕揚碑も建立され、その業績を今に伝えています。

アラ不思議!? 温泉が冷泉に!



水神社

左：境内
右上：今も湧き続ける
石清水（パイプ
は簡易水道のタ
ンクへの導水管）
右下：水神社のお社



😊 江戸時代はじめての『寛永の大噴火』では、蔵王の山から遠く離れた村々にまで火山灰が降って、大変な被害があったんだ。

🐸 うむ。自然災害とは恐ろしいものじゃな。

😊 でも、そんな中でも「蔵王のお山よありがとう！」ってお話も伝わってるんだよ。

🐸 なに!? 大噴火の中でいったい何があったんじゃ?

😊 それは、湧き水だよ! 平沢地区の湯口っていう所は、ムカシは温泉が湧き出してたから湯口と付けられたんだ。この温泉がね…、大噴火がきっかけで冷たい水に変わったんだよ。

🐸 フシは温泉でマツタリが嬉しいんじゃが。冷たい水では風邪をひいてしまうわい…。

😊 温泉もいいけど、水だと飲み水や田畑にも使えるから、村人たちは「ひでりの時も安心だ!」って喜んだんだよ。

🐸 なるほど。たしかに、入浴より飲食の方が大事じゃ。

😊 村人たちは水神社というお社を建てて、神さまに感謝したんだよ。この冷泉はイマでもコンコンと湧き続けていて、地区の簡易水道の水源にもなってるんだ。

🐸 大噴火の中、恵みの水がもたらされたんじゃな。よい話じゃ!

大変だ！権現さまが焼けちゃった！



山頂のお社

大正年間のお社。蔵王大権現社は、明治以降蔵王刈田嶺神社と改められた。この写真のお社が江戸時代に再建されたものかどうかは不明。また、ご神体は、山頂付近の石を組みあげて作った石室に安置したという。

(左：大正期の神社 上：大正期の石室)

😊 江戸時代はじめてから噴火を繰り返してた蔵王火山。1694～5年にも大噴火を起こしたんだよ。

🐸 本当に噴火してばかりだったんじゃないかな…。

😊 『元禄の大噴火』って呼ばれるこの噴火では、御釜の水が2度もあふれ出たんだって。御釜の水は酸性で生き物が住めない水質なんだけど、この時は、火山活動のために硫黄が溶け込んでたんだって。この毒水のおかげで、下流の魚はぜんぶ死んじゃったんだって…。

🐸 火山活動などの自然災害は、人間の暮らしだけでなく、生き物や環境など、地域のすべてに大きな被害をもたらすんじゃない。

😊 それと、この噴火では、山頂の蔵王大権現社が焼けちゃったんだよ。この時、ご本尊も一緒に焼けちゃったんだって。

🐸 『蔵王』の名前の由来となったお社が失われてしまったか…。

😊 当時、蔵王の山は、白石城主・片倉家の領地だったんだ。片倉家は、大急ぎでお社の再建を進めて、焼失の翌年には新しいお社完成の儀式を執り行ったんだよ。

🐸 片倉家、フットワーク軽いのう。

😊 それだけ、蔵王大権現への信仰があつかったってことだね。

ちょっと休んでまた起きて…



😊 『元禄の大噴火』の後、およそ100年ほどの間は、蔵王火山の活動の記録はパツパツなくなっちゃった。

🐸 ひととあばれしておちついていたのかな？

😊 そうかも知れないけど、その直前まで大噴火してたのに、急にナニゴトもなくなっちゃったのって、考えにくいよね。

🐸 うむ。それは考えにくいぞ。

😊 この100年間は、被害が及ぶほどの大噴火がなかったから記録がないだけで、小噴火や噴気活動は続いてたんじゃないかな。

🐸 なんにしても、災害がなくなるのは良い事じゃ。

😊 ところがその100年後から、また噴火ラッシュがはじまるんだ。1793年から地震が増えて翌年に噴火。その後1873年までの約80年間、噴火を繰り返したんだよ。記録では、山が鳴動したり、噴煙を上げたり、噴火したり、火山灰が降ったり、土石流が起ったり、御釜が沸騰したり、御釜から硫黄水があふれ出したり…とにかく、活発に活動してたことがわかるんだ。

🐸 うむ…なんだか、あまり驚かなくなっちゃったのじゃ…。

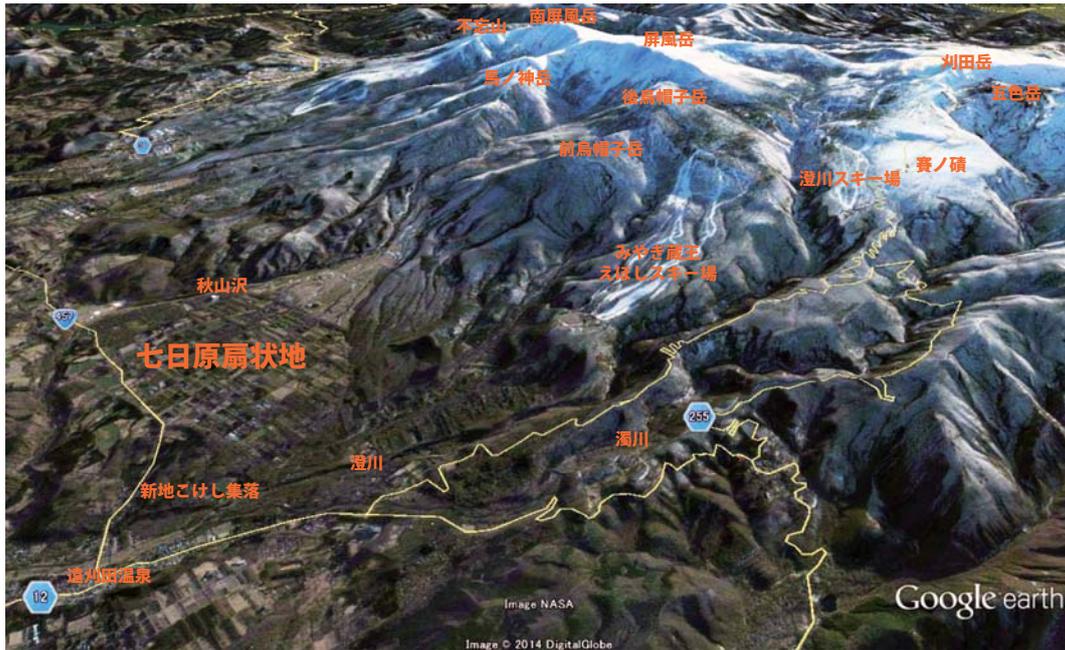
😊 チナミに1873年は明治6年。つまり蔵王火山は、江戸時代の3分の2以上の期間、活発に活動してたってコトなんだ。

🐸 現在の蔵王火山からは想像もつかないのう。

😊 それから、蔵王火山とは関係ないけど、江戸時代の後半は寒い年が多かったみたいなんだ。農作物がうまく育たなくて『三年一作（平年並みの収穫が得られるのは3年に1回程度）』なんて言葉も生れたんだ。特に、東北地方では何度も飢饉が起きて、たくさんの人々が亡くなったんだって。

🐸 気候の寒冷化だけでも大変だったのに、それに加えて蔵王火山の噴火…。厳しい時代だったんじゃないかな…。

ジオとレキシと大根と



七日期扇状地

烏帽子岳、馬ノ神岳の山麓間に形成された扇状地。土砂運搬の主体は、屏風岳の山麓から流れ出る秋山沢。

片倉家が開いた七日期牧場は明治期に松方牧場、さらに早川牧場へと移り変わってきた。七日期北東部には『新地こけし集落』がある。彼らの祖先は蔵王山中の木を材料に木製品をこしらえていた木地師だが、七日期牧場の開設時に牧場の番をする足軽として片倉家に召し抱えられ、新地に屋敷を与えられて暮らすようになった。

こんにち七日期は、七日期高原大根、蔵王チーズ、蔵王爽清牛をはじめ、野菜、イワナ、ニジマス、豆腐、豆乳などさまざまな食品・食材が生産される『蔵王の食料庫』のひとつであり、数々のスポットが点在する観光地区である。

 ^{ざおうまち}蔵王町って、^{だいこん}ナニゲに大根がおいしいよね～！

 ^{なのかはらこうげんだいこん}七日期高原大根じゃな。『七日期扇状地』で獲れる
^{だいこん}ブランド大根じゃ。ワシ、^{だいこん}大根サラダが^{だいこうぶつ}大好物じゃ！



 ^{せんじょうち}扇状地ってなあに？

 ^{せんじょうち}扇状地は、^{やま}山から^{なが}流れてきた^{どしゃ}土砂が、^{ふもと}麓に^{おうぎがた}扇形に^{たいせき}堆積してできた^{ちけい}地形じゃ。^{なのかはらせんじょうち}七日期扇状地の^{じょうそう}上層には、^{ざおう}蔵王の^{かざんばい}火山灰に由来する『^{くろ}黒ボク』という^{つち}土が^{たいせき}堆積しとるんじゃ。おいしい大根ができるのも^{くろ}黒ボクのおかげ。これぞ^{ざおうかざん}蔵王火山の^{めぐ}恵みじゃよ！

 ^{なのかはら}へ～！ ^{ゆうめい}ところで、^{あば}ジツは七日期は、かの有名な『^{ほうしやうぐん}暴れん坊将軍』に^{かんけい}カンケイがあるんだよ！

 ^{じだいげき}なんじゃ？ ^ち時代劇の^ち口ケ地にでもなったのかな？

 ^{じだいげき}時代劇じゃなく、^{ほんもの}本物の^{だいしやうぐん}8代将軍・^{とくがわよしむね}徳川吉宗だよ。1743年、^{よしむね}吉宗が^{だてけ}伊達家に^{くんばそうさん}軍馬増産を命じたんだ。伊達家では、^{だてけ}白石城主^{かたくらけ}片倉家に^{めい}命じて、^{ざおう}蔵王の^{ふもと}麓の^{げんや}原野に^{まきば}牧場を作らせたんだ。この^{まきば}牧場、^{みまわ}見廻るのに^か7日かかるほど^{ひろ}広がったんで『七日期』って^{ちめい}地名がついたんだって。

 ^{ちしつ}地質や^{ちけい}地形、^{れきし}歴史、^{とくさんひん}特産品に^{めぐ}恵まれた七日期、^{なのかはら}素晴らしいのう！



蔵王の地名と信仰登山



敬明講図 (蔵王町指定文化財) 仙台の蔵王参詣講『敬明講』が蔵王刈田嶺神社に奉納した絵馬。御山参りのようすが描かれている

質問じゃ。『賽ノ磧』や『三途の川』とはなんじゃ？

仏教で信じられてる、あの世とこの世の間に流れる川が三途の川、三途の川がある河原が賽ノ磧だよ。人が死んで最初にたどり着く場所が賽ノ磧なんだ。

なぜ、蔵王に賽ノ磧や三途の川という地名があるんじゃ？

それは、信仰登山『蔵王の御山参り』のためだよ。

信仰登山？ どんな登山じゃ？

ひとことと言うと『生れ変わり体験ツアー』かな。当時の人々は『悟りを開き極楽に行くためには、無数に生れ変わり、それぞれの人生で功德を積み続ける必要がある』と信じてたんだ。

ふむ…。

逆に考えれば、『ものすごい数の生れ変わりをくり返せば、極楽に行ける』だよね。そこで…もしもアナタが『蔵王登山1回で生れ変わり1回分とみなします』って言われたら？

そりゃ嬉しいわい。100回登れば人生100回分じゃ。だいぶゴールに近づいた気分じゃ！

そうだよね～。蔵王の御山参りの出発地は遠刈田温泉。真夜中に山伏さんの先導で出発だ。しばらく行くと、この世との別れ



御山参りの出発地、蔵王刈田嶺神社里宮



賽ノ碓入り口にある石仏群『カナガラ仏』



『賽ノ碓』は、火山噴火が作り出した地形



御釜の水は霊水『関伽水（あかみず）』とされ、参拝者はわれ先に回にした



山頂・奥の宮であらたな命を与えられる



山中でよく見かける、参詣者持参の小石仏

の場、賽ノ碓に到着。さらに進んで三途の川を越えればあの世だよ。死者として登山を続け、山頂の蔵王大権現社にお参りすることで生れ変わりを果たすんだ。いい筋書きでしょ？



なるほど、だから、賽ノ碓や三途の川という地名があるんじゃない！ 賽ノ碓は、蔵王の噴火で流れ出た溶岩が冷え固まってできたゆるやかな傾斜地に、その後の噴火によって噴出物が降り積もってできた石原なんじゃ。荒涼な雰囲気、まさに賽ノ碓のイメージそのものじゃな。



仏教では、お地藏さんは、幼子の魂を救うために賽ノ碓にいる仏さまなんだ。蔵王では賽ノ碓の近くに滝があるよね？



『地藏滝』じゃな。



仏教では、三途の川を渡ると、もうこの世に戻れないと考えられてるんだ。蔵王で、三途の川を渡った先にある滝は？



『不帰の滝』じゃ…。



わかってきたでしょ？ 蔵王の御山参りは江戸時代中～後期にはじまったんだ。明治維新で修験道が禁止されて、蔵王大権現社が蔵王刈田嶺神社と改められた後も衰えず、昭和初期まで続いたんだよ。



地名ひとつにも、蔵王ならではの歴史が宿っているんじゃない！

「聖地」と「鉱山」仲良く同居!?



余ノ峯 また 熱湯 下ノ脚



硫黄採掘の坑道

大正中期の絵はがき。『周囲一望がみな奇岩奇石』という蔵王山頂付近の景観を紹介しているが、右下に坑道の入り口が認められる。

いまの坑道跡

入り口の支柱のみが残り、大半が土砂に埋まっている
(左の絵はがきと同一の坑道でない可能性もあります)



山頂付近で観察される硫黄結晶

😊 明治時代に入ると、蔵王の山にもマタマタ変革が訪れるんだ。

🐸 ん？ また新しい信仰が入ってきたかのう？

😊 違うよ。たしかに、修験道が禁止されて蔵王大権現社が蔵王刈田嶺神社になったけど、人々の信仰は変わらなかったよ。

🐸 では、どんな新しいことが起ったんじゃ？

😊 それは、蔵王の山が…地下資源採掘の場になったコトだよ！

🐸 地下資源の採掘！？ 人々の信仰の場であり続けたのに、か？

😊 うん。蔵王は、聖地でありながら鉱山になっちゃったんだ。明治21年（1888）、五色岳と熊野岳の間に川音鉱山っていう硫黄の採掘場ができたんだ。

🐸 御釜のすぐ脇じゃ…。罰あたりとは思われなかったかのう？

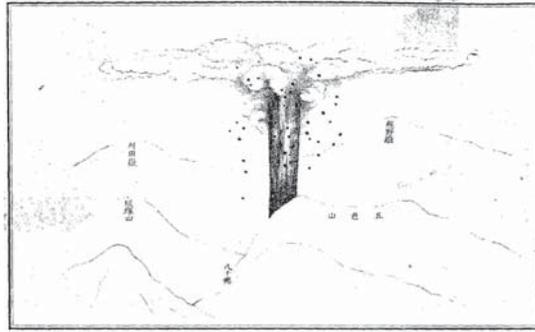
😊 明治時代って『欧米化』『産業化』『経済優先』で、古いものはあまり省みられなかったのかもね。それに、おとなりの山形県側では明治初期から硫黄採掘が始まってたからね。もちろん、この当時でも蔵王の御山参りは大人気！ 御山参りの人と鉱山で働く人とが、仲良く同じ登山道を行き来してたんだよ。

🐸 人々が争ったり、いがみ合ったりしないのは良いことじゃ。

😊 川音鉱山は明治28年の噴火で使えなくなって、イマの大黒天の近くに移転。その後も採掘が続けられたんだよ。

🐸 これもまた、蔵王火山と人々との係りあいの歴史なんじゃな。

蔵王の噴火、初撮影！



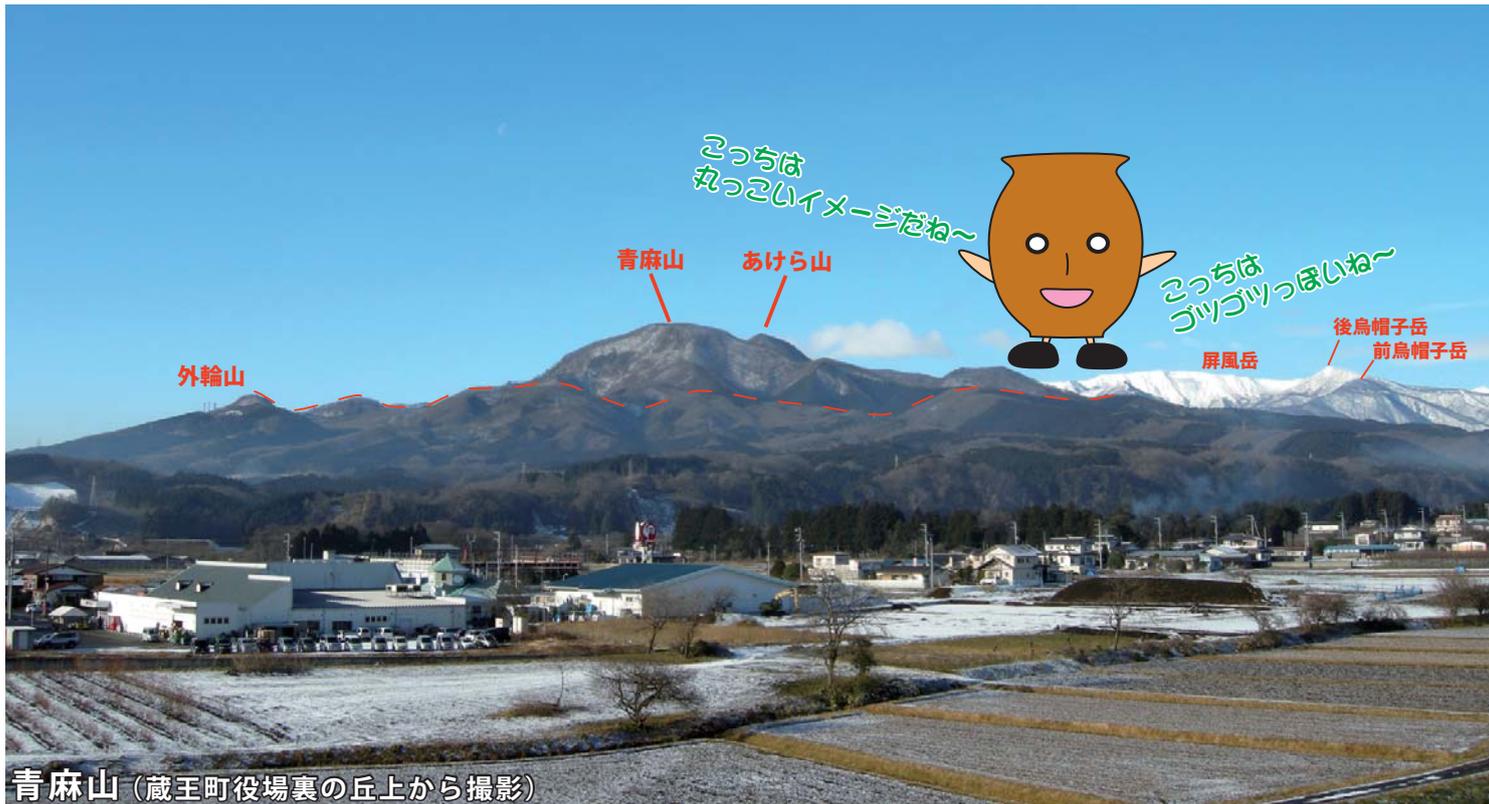
明治28年（1895）蔵王火山噴火の状況

日本地質学の草分け的存在である地質学者、巨智部忠承（こちべただつね）によって撮影された、御釜火口から立ち昇る噴気の状況。明治28年10月6日撮影。上の2点のスケッチは、当時山頂付近の硫黄採掘場に勤務していたの坑長を務めていた泉氏によるものと伝えられる（左：9月27日、右：10月6日）。これらの写真とスケッチは、巨智部博士によって実地調査、見聞、分析結果などとともにまとめられて地質学会誌『地学雑誌』上に報告された。

（出典：『地学雑誌』第8巻 第88～90号 図版2点は第89号、写真は第90号に掲載）

- 😊 明治6年（1873）以降、蔵王火山の活動は落ち着くんだ。
- 🥰 休止期間はたったの21年。ほとんど、ないに等しいのじゃ。
- 😊 火山、スナフチ『地球の営み』にとってはツカノマの休息だね。
- 蔵王火山は、明治27年（1894）からまたもや活動をはじめたんだ。27年3月から噴煙が上がり始めて、翌年の2月に噴火。噴出した火山灰はイマの『みちのく杜の湖畔公園（川崎町）』のあたりまで降り注いだんだよ。土石流で我々温泉が流れ、有毒の水で大河原の白石川でも魚が死んだんだって。
- 🥰 比較的小規模な噴火だったんじゃが、影響は小さくないのう。
- 😊 ところで、このときは、蔵王火山の噴火のようすがはじめて写真撮影されたんだよ！ カッキテキだよ～！
- 🥰 写真じゃと？ ずいぶんとハイテクじゃな～！
- 😊 当時は、日本でカメラが使われ出して50年ほど。高級品だったんだ。噴火を調査した地質学者さんが撮影したんだよ。
- 🥰 写真もすごいが、100年以上も昔に地質学者が調査してたことも驚きじゃ！ この調査は、現在の蔵王火山研究へと続く積み重ねの第一歩、つまり土台と言えるんじゃないかなろうか？
- 😊 研究も火山のシマシマのように積み重ねで成り立ってるんだね！

忘れちゃイケない青麻山



青麻山（蔵王町役場裏の丘上から撮影）

😊 ここまでず〜っと蔵王火山のお話をしてきたけど、青麻山のことも忘れちゃダメだよな！

🐸 うむ。蔵王と同様、青麻山も人々に親しまれている山じゃな。

😊 青麻山は、ムカシは大刈田山って呼ばれてたんだ。西暦800年ごろまでは、頂上に刈田嶺神社があったんだよ。

🐸 蔵王火山を祭るのに、なんで青麻山に神社があるんじゃ？

😊 神さまである蔵王火山に人が踏み込んでダメだったんじゃないかな。蔵王火山を拝むベストポイントが青麻山だったんだよ。

🐸 なるほど。神の領域に人が踏み込んではいかな。

😊 でも、修験道が盛んになるとそうした考えも薄れたんだ。蔵王の山頂にも、蔵王大権現がお祭りされるようになったよね。

🐸 信心のあり方の変化じゃな。

😊 蔵王修験の中心のお寺『願行寺』は、青麻山の麓にあったんだ。

やまぶし 山伏さんたちは、青麻山を拠点にしながら、蔵王連峰一帯で修業をしてたんだ。青麻山の麓一帯では、イマでも修験にまつわ

ちめい つた
る地名が伝わってるんだよ。

やまぶし
 山伏たちにとっても、あおそやま たいせつ やま
青麻山は大切な山だったんじゃないな。

あおそやま ちようじよう あおそじんじゃ ほくら まつ
 イマ、青麻山の頂上には『青麻神社』の祠が祭られてるんだ。

あおそやま なまえ じんじゃ ゆらい
青麻山の名前はこの神社に由来するんだよ。

あおそ ぬの お せんい しょくぶつ
 青麻とは、布を織るための繊維をとる植物じゃないな。ところで、
あおそやま おく やま やま
青麻山の奥に『あけら山』という山があるじゃろ？

やま あ みようじよう きんせい かみ まつ
 あけら山は、明けの明星＝金星を神さまとしてお祭りしたものだよ。イマから150年ほどムカシ、とおがった やまぶし さんちよう
遠刈田の山伏さんが山頂
に『あけら山』のせきひ た はじ
石碑を建てたのが始まり。

きんせい そうちよう なんとう そら み ほし とおがった
 なるほど。金星は、早朝に南東の空に見える星じゃ。遠刈田から
み
見れば、あけら山はまさに南東方向。深いのう～！

あおそやま はなし き
 そろそろ青麻山ソノモノのお話も聞かせてよ！

あおそやま なか たか やま まわ ちい やま と かこ
 うむ。青麻山は『まん中の高い山の周りを小さな山が取り囲んでる山』じゃ。この小山の輪っかは『外輪山』といって、元は
やま こやま わ がいりんさん もと
ひとまとまりの大きな山だったんじゃない。それが、なにかの理由
あお やま りゆう
で中央部分がくぼみカルデラができた。この時残った山体の一部が外輪山じゃ。その後、カルデラ内で噴火があったんだが、
ふんしゅつ ようがん ねば け つよ なたまり ひ
噴出した溶岩の粘り気が強くて、モコモコとした塊のまま冷
かた
え固まったんじゃない。これが『青麻山』『あけら山』なんじゃよ。

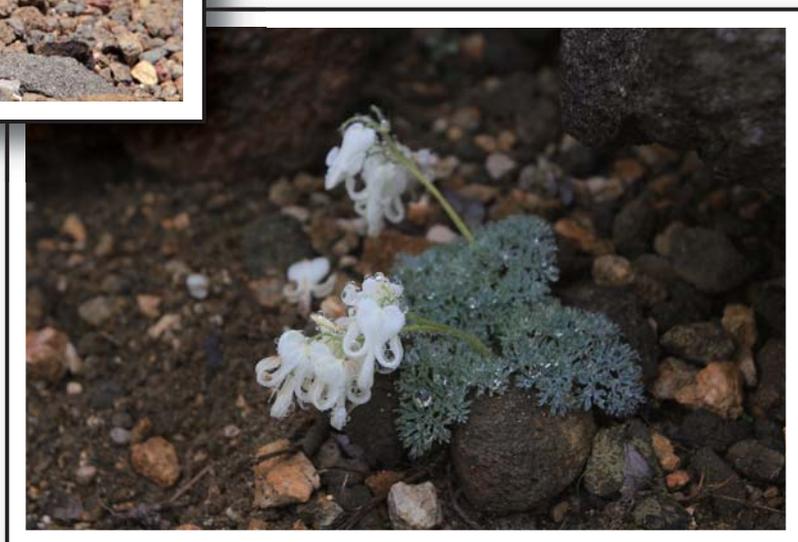
ようがん なが おも
 へ～！？ 溶岩って、ドロドロ流れるものだと思ってたよ～。

あおそやま まんねん まえ ひかくてきふる
 うむ。青麻山は40万年ほど前からできはじまった、比較的古い火山じゃ。そのため山の稜線や山頂などの崩れが進み、丸みを帯びとるんじゃないよ。

あおそやま まる
 なるほど～。ボクは、青麻山の丸っこいところがスキだな～！

あおそやま ざおうかざん みくら かざん ちが ねん
 青麻山と蔵王火山を見比べると、火山のできかたの違いや、年月とともに山がどのように変化していくかがわかるのじゃ。そ
げつ やま へんか
ういった意味でも、いみ ちいき やま よ
地域に2つの山があるのは良いことじゃないな。

— ちょっとおもしろい蔵王のひとこま —



コマクサとシロバナコマクサ

標高 1700m を超す蔵王は多数の高山植物が生育している。それに加えて、蔵王エコーラインによって山頂まで手軽に往来できることから、高山植物の観察にはもってこいの環境といえる。コマクサは蔵王を代表する高山植物のひとつで、初夏になると可憐な薄ピンク色の花を咲かせる。この花の形が馬の顔に似ていることから『駒草』と名付けられている。蔵王では、その名の通りコマクサ平から山頂にかけての岩場に多く自生している。普通種は薄ピンク色の花をつけるコマクサだが、ごく稀に白花種も認められる。

可憐さに加えて高潔さも漂わせる白花種。見ることができるのは大変な幸運である。（池田尚人氏撮影）

—第3章—

蔵王火山の贈り物

 あたり前のことじゃが、蔵王火山は火山じゃ。いったん火山活動が活発化すると、大きな被害を及ぼす可能性があるんじゃ。そして、火山活動は地球の営み。人間がコントロールすることはできないんじゃ。だから、日頃から火山災害が起こることを考え、備えておかねばならない、注意すべき存在なんじゃよ。

 でも、蔵王火山はたくさんの贈り物をしてくれてるんだよ。火山活動に注意して、備えるのも大切だけど、ココでは、日頃からボクたちが受けている蔵王火山の恵みのコトを考えていこう！

第3章 蔵王火山の贈り物

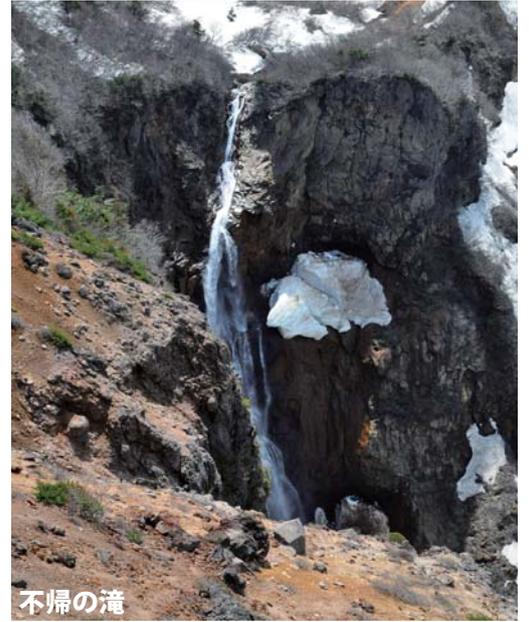
蔵王火山の贈り物 ～景 観～
蔵王火山の贈り物 ～土 壌～
蔵王火山の贈り物 ～温 泉～
蔵王火山の贈り物 ～湧き水～
蔵王火山の恵みを受けて…



蔵王火山の贈り物 ～景観～



御釜とコマクサ



不帰の滝



円田盆地から眺望した蔵王連峰



蔵王火山の贈り物、その筆頭は『景観』じゃ。長年の火山活動
が作り出した特異な地形、複雑な火山地層の間を流れる水流に
よって大地に刻みこまれた溪谷や滝。どれも、普段の暮らしの
中では目にすることができないものばかりじゃ。



ひとつひとつのスポットもステキだけど、もっと離れて、蔵王
連峰全体もスバラシイ『ひとつの景観』だよ！



それに、火山特有の地層や岩石、高山植物、山地性の動物など
も忘れてはいかんのじゃ。これまた、普段の生活圏内ではお目
にかかれないものじゃ。

蔵王火山の贈り物～土壌～



七日原耕地

 蔵王町は農業が盛んな町じゃ。その農業も、実は蔵王火山の贈り物で成り立っとるんじゃ。

 火山と農業って関係あるの？ まさか、ボクの知らないところで、火山の熱を使って南国フルーツを育ててるとか！？

 そんな特別なことではない。土じゃ。蔵王は火山。大量の火山灰が、わが町をはじめ広い地域に降り積もっとるんじゃ。

 蔵王火山の噴火の記録では、火山灰で作物に被害が出たってオハナシが多いよ？ お百姓さん大迷惑だったはずだよ～！

 噴火したての火山灰は地域に被害を与えるが、長い時間を経て落ち着くと作物を育てるのによい土になるんじゃ。特に、ここ数千年の間に蔵王火山から噴出した火山灰が元になった土は、黒褐色でボクボクした手ざわりから『黒ボク』と呼ばれ、果樹や野菜の栽培にもってこいなんじゃ！

 黒ボク？ ちょっとヘンな名前だね～。

 蔵王の農作物はみなうまいが、中でも梨や桃などの果樹、大根や里芋などの根菜類は特に良いんじゃ。黒ボクのおかげ、蔵王火山のおかげなんじゃよ。



蔵王火山の贈り物～温泉～



自噴し、流れを作る温泉（蔵王山中、かもしか温泉）



湧き出し口



即席の湯船

 温泉！ さまざまな蔵王火山の贈り物で、ワシにとっては一番ありがた～いものじゃ。ゆったりお湯につかるひととき…この世の極楽じゃ！

 温泉い～よね～。あつたまるよね～。

 火山活動が活発な場所では、比較的浅いところにマグマがあるんじゃ。地下にたまった水がマグマの熱で暖められて温泉になるんじゃよ。地下の水は、たまっていた地層の物質を溶かし込むことがある。これが温泉成分じゃ。

 火山の近くに温泉地が多いワケがわかるね～。

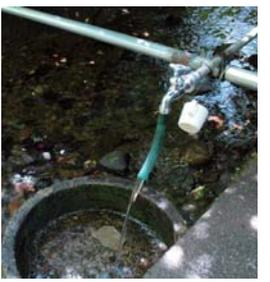
もともとは自然に湧き出す温泉を利用していたが、今の温泉地では、温泉井戸を掘ってポンプで汲み出すことも多い。しかし、蔵王の山中では、今でも温泉が湧き出る場所もあるんじゃ。

 え～！？ じゃ、ソコにおフロを作れば天然露天風呂じゃん！

 そういふ楽しみ方をしてる登山客もいるようじゃぞ。持参したシートと周囲の石で、即席の湯船をつくるんじゃと…。うらやましいのう。



蔵王火山の贈り物～湧き水～



上：平沢・湯口地区『水神社の水』（左は給水口）
右：宮・沢北地区『宝龍権現清水』



ちょうない
町内のあちこちにある美味しい湧き水
もまた、蔵王火山の贈り物なんじゃ。

わ
湧き水って、地下にしみ込んだ雨水が湧き出したモノでしょ？

ちょうない
たしかに湧き水の元となるのは雨水じゃが、蔵王火山の隠れた
はたら
働きがあつてこそ、雨水がおいしい湧き水になるんじゃよ。ま
ず、蔵王火山は何でできているか、考えてみるのじゃ。

やま
山なんだから、土でできてるんじゃないの～？

ちょうない
蔵王火山は、火山灰や火山弾、溶岩など火山噴出物が積み重なっ
てできてるんじゃ。これらは水はけが良く、雨水がどんどん浸
透するんじゃ。浸透した雨水は、火山噴出物の間を通る時にろ
過されて、不純物が取り除かれる。地層によっては、いやな味
やにおいの成分を取り除く効果もあるんじゃ。

わ
へ～！ 蔵王の山って、天然の浄水器なんだね！

ちょうない
うむ。そうやって美味しくなった水が、麓で湧き出すんじゃ。
蔵王町には名水と呼ばれるほどの湧き水が何カ所もある。遠く
からポリタンク何個分もの水を汲んでいく人もいるんじゃよ。

わ
みんなで蔵王火山の恵みをいただいでるんだね！

蔵王火山の恵みを受けて…



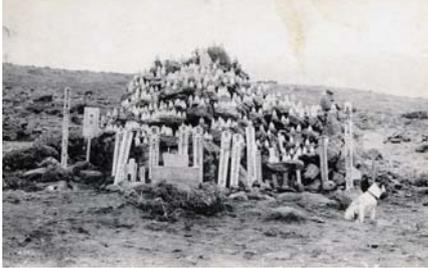
さまざまな被害をもたらす蔵王火山は、それと同時にさまざま
 な恩恵をもたらす山でもあるんじゃ。昔から、この地域に暮ら
 す人々は蔵王火山とともに歩んできたんじゃ。

そうだね。信仰の山と、観光の山。これが、人々と蔵王火山と
 のかかわり方だったんだよね。

信仰の山としては、火山の神『刈田嶺神』にはじまり、修験道
 の神仏『蔵王大権現』が祭られ、そして江戸時代の『蔵王の御
 山参り』へとつながっていくんじゃったよな。

観光の山としては、御山参りの宿泊場として遠刈田温泉が大繁

かつて賽ノ碓にあった地藏尊奉納塔



山頂に奉納された石碑。
 草鞋ばきで歩くしかなか
 った江戸時代、ここまで
 運び上げた信心に脱帽！



どこまでも続く人の列！
 青少年の体力増進に大人
 気だった蔵王登山
 (昭和初期)



大正年間の『蔵王の御山参り』。当時の蔵王は、伝
 統的な御山参りとレジャー登山客が混在していた。



初期のスキー場はこんな感じ (青根スキー場)

盛じょうしたのがキツカケ。その後、明治時代ごめいじじだいに西洋風せいようふうのレジヤとー登山との山ざんになって、大正時代たいしょうじだいにはスキー場じょうができたんだ。蔵王ざおう観光かんがこうがあおお大きくへんか変化ししたのは、昭和37年しょうわねん（1962）の『蔵王ざおうエコーライン』開通かいつうのときだよ。エコーラインのおかげで、標高ひょうこう1700m以上いじょうもの蔵王火山ざおうかざんのテッペンとざんに、気軽きがるに行けるようになったんだ。蔵王火山ざおうかざんは、『登山とざんを楽しむ山やま』から『クルマで行ける観光地かんこうち』に大变身だいへんしんしたんだよ。

こうして見ると、われわれ人間にんげんと蔵王火山ざおうかざんとのかかわり方は、時代じだいとともに大きく変化へんかしとるんじゃないな。

うん。でも、いつの時代じだいも蔵王火山ざおうかざんの恵みめぐみを受けながら暮らくしてきたことは変わかわらないよね！

エコーライン開通後の蔵王
刈田峠駐車場から山頂に向かう大行列！

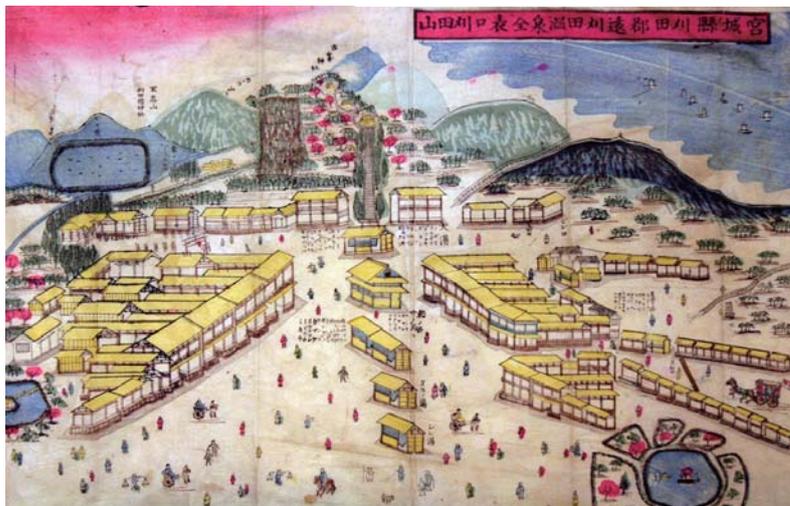
日本の自動車観光の黎明期を作った
蔵王エコーライン・ハイライン

エコーラインのおかげで、標高1700mの高山なのに
こんな薄着でも御釜見物ができるようになりました。



開通時のエコーラインは未舗装道路！

『ヒルクライム・エコ』は、自転車でハイラインを走行
できる唯一のチャンス。御釜で愛車と記念撮影！



明治20年代の遠刈田温泉絵図（木版画）保養客のお土産用に作られたもの



昭和10年ごろのパンフレット

どんなに時代が変わっても、
蔵王火山に登る時は鳥居をくぐるのです

